

● 全国高等専修学校協会理事会

2月19日、東京・アルカディア市ヶ谷を会場として全国高等専修学校協会の理事会が開催された。

清水信一会長が開会あいさつを述べ、白鳥綱重文科省専修学校教育振興室長が来賓あいさつを兼ねて、平成27年度高等専修学校関係予算案について説明。議事に入り、(1)平成27年度事業計画・収支予算原案(活動方針：①文部科学省委託事業平成27年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」における『高等専修学校における高等教育機関と接続したモデル・カリキュラム開発と就労支援システムの構築』事業の推進。②会員校の学校評価・情報公開の全面的な実施を推進し、公的教育機関としての独自の財政措置と、未解決の格差是正の実現を目指す。③啓発資料の毎年度発行を国に求め、高等専修学校の社会的認知度向上のための活動を推進する。④わかりやすい学校制度とするために、専修学校設置基準分離の議論の再開を求める。⑤高等専修学校に学ぶ発達障がい生徒の受け入れ、修学ならびに進路指導に関する支援を推進する。⑥高等専修学校における「いじめ問題」に対して適切な対応を推進する。⑦各都道府県における高等専修学校に対する「授業料軽減等措置」を推進する。⑧東京都の「私立専修学校特別支援教育事業費補助」をモデルとした各道府県の発達障がい生徒受け入れに関する予算措置を求める。⑨各都道府県における授業料減免措置に対する国の支援事業を求める。⑩高等学校等就学支援金のより一層の充実を求める。(2)今後の予定日程(定例総会・研修会、体育大会、理事会、正副会長・総務・研修合同委員会の開催日程など)、について事務局が配布資料に基づき説明。質疑応答及び広く意見交換を行い、原案どおり異議なく承認された。

理事会終了後に平成26年度文部科学省委託事業「高等専修学校における高等教育機関と接続したモデル・カリキュラム開発と就労支援システムの構築」産学官連携コンソーシアム・職域プロジェクト成果報告会がアルカディア市ヶ谷を会場として開催され、45名が受講。

清水会長が開会あいさつを述べ、白鳥綱重文科省専修学校教育振興室長が来賓あいさつを述べた。幹事校である大岡学園の大岡豊理事長と鳥取大学の長尾博暢准教授がコンソーシアム事業成果報告。職域プロジェクト事業成果報告として、②自動車分野＝大阪技能専門学校の大浦慎也教頭、③調理衛生分野＝大育高等専修学校の石川正剛副校長、④服飾分野＝細谷高

等専修学校の細谷祥之事務長、①IT分野と⑤福祉分野＝大岡学園高等専修学校の折戸宏次企画部長、が発表し、受講者との質疑応答を行い、榎木將悟文科省専修学校教育振興室第二係長が講評を述べて終了した。